

## 被災地への訪問で「防災」 「まちづくり」に興味

高校生の頃、東日本大震災の被災地へ訪問する機会がありました。その中で地域の方々とお話したり、大人の中に入っていき経験をすることで自分にできることは何かを考えるようになり、**防災やまちづくり**の分野を学んでみたいと考えました。

## AO入試(※)で都市デザイン学部へ

※現在の総合型入試

都市デザイン学部の都市・交通デザイン学科は**防災・減災学**と**地域コミュニティ学**などのまちづくり分野の両方が学べて、僕のやりたいこととマッチしていました。そして、富山であれば出身地の愛知から日帰りできる範囲内ということも惹かれた部分です。被災地訪問を通して、人と話すことや意見を聞くのが好きだと実感していたこと、高校生時代に生徒会での活動に力を入れていたこともあり、AO入試でチャレンジしてみようと思いました。

## オープンキャンパスからの繋がり

高校3年の夏に富山大学のオープンキャンパスに参加しました。学科の先輩からお話を聞いたりもして、富山大学進学への想いがより強くなりました。大学入学後も、その先輩からテストの情報収集をしたり、学生生活でたくさん助けられました。

## 全学横断PBLの授業をきっかけに プロジェクト立ち上げ

全学横断PBLの授業をきっかけに、積雪時に誰でも使えるシャベルの設置をする「**ふらっとシャベル**」という団体を立ち上げました。2023年冬には8ステーション17本のシャベルを設置しました。シャベルを設置するだけで冬の時期の困りごとを一つ減らせる。これなら僕たちでもできるからやってみよう！と思い実践しました。

## 社会をちょっと良くすることは、 実は思っているより簡単で楽しい

僕は友人とゲームをすることもありますが、ゲームでランキング1位を目指すよりも、社会に貢献してちょっとだけ社会をよくするほうが簡単だと個人的には思っています。学生という立場だからこそ、地域の人や企業の人にシャベルを寄付してもらおうなどの協力を得られます。時には、地元メディアに取り上げてもらえました。多分僕が社会人でその活動をしていても、それだけの支援は集まらなかったと思います。



## これまででもこれからも 「出来る範囲でしっかり継続する」

「**ふらっとシャベル**」の活動は、現在シャベルの設置場所の拡大や、防災を軸としたイベントの開催があります。その活動は義務ではなく、あくまで個人の防災団体なので、「**出来る範囲でやる**」というスタンスです。これから僕は富山県内の企業に就職しますが、後輩に引き継ぎながら関わっていきたいです。